

# 平成27年度 租税教育に関する研究発表要項

名取市立閑上中学校  
教諭 荒川 美貴

## 1 研究主題

「積極的納税者を育むための指導の工夫」  
～税の使い道についての学習や租税教室の活用を通して～

## 2 主題設定の理由

### (1) 生徒の実態から

租税に関する本校生徒の実態を捉えるために、(3学年1組 男子11名 女子15名 計26名)を対象に、アンケートを行った。その結果[資料1]から、『税金』という言葉聞いて思い浮かべることは何か。』という問いについては、「消費税」について回答する生徒が多かった。他の設問の中でも「消費税」に関する回答をする生徒が多く、他の税の種類があまり挙げられなかったことから、生徒の中では「税金」＝「消費税」という考えを持っているようであった。「お金を取られる」や「できれば無くなって欲しい」という回答もあり、租税に対してはマイナスイメージを持っていることが伺えた。しかし、「税金は必要だと思うか」という設問に対しては、「必要」が11名、「どちらかといえば必要」が8名、「必要ない」が6名と回答しており、ほとんどの生徒が税金を必要だと感じている。これらのことから、税金に対してマイナスイメージを持ちつつも、納税に関しては必要性を感じていることが分かる。

### (2) 社会科における租税教育から

租税に関しては、中学校学習指導要領社会公民分野の「2内容(2)私たちと経済イ国民生活と政府の役割」の中で、「国民の生活と福祉の向上を図るために、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護など、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせる。また、財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えさせる。その際、租税の意義と役割について考えさせるとともに、国民の納税の義務について理解させる」ことをねらいとして中学校社会科公民分野で「租税」について学習することになっている。

そこで生徒の実態と中学校社会科公民分野のねらいから、税に関してマイナスイメージを持ったままで納税を行っている「消極的納税者」から、納税の意義や役割などを正しく理解した上で納税を行っている「積極的納税者」を育みたいと考えた。さらに、本単元のまとめとして「租税教室」を行うことで、税に関する生徒の関心や理解を深めることができると考え、本主題を設定した。

### 3 研究目標

租税に関する授業において、税に関する正しい知識や税の使い道に関する指導や租税教室を通して、「積極的納税者」を育む指導法を探る。

### 4 研究仮説

税の使われ方に関して、「消極的な見方」と「積極的な見方」の両方を学習するとともに、「租税教室」を行うことで納税の意義や役割などを正しく理解すれば、「積極的納税者」として生徒を育成することができるだろう。

### 5 研究方法

- (1) 生徒に税に関する事前調査を実施し、実態を把握する。
- (2) 生徒の実態に基づき、税の使い道に関する「消極的な見方」と「積極的な見方」に関する授業実践を行う。
- (3) 授業実践を通して、生徒の発言やワークシートへの記述内容から「消極的な見方」から「積極的な見方」に変容しているか考察する。
- (4) まとめとして「租税教室」を行い、税理士の方から、最新の税に関する情報を知ったり税に関して質問したりすることによって、さらに税に関心を持つことができるようにし、正しい納税意識の醸成をする。

### 6 研究計画

8月21日(金)	平成27年度租税教育に関する座談会(山元町中央公民館)
9月2日(水)	税に関する事前調査
9月～	租税教育に関する授業実践の検討
10月5日(月)	実践授業①「税金って何だろう？」(税の使い道に関する「消極的な見方」)
10月7日(水)	実践授業②「税金の使い道」(税の使い道に関する「積極的な見方」)
10月16日(金)	租税教室(木村経営管理会計 木村拓也税理士)
10月中旬～	研究のまとめ
11月12日(木)	平成27年度租税教育に関する研究発表会(名取市商工会館)

## 7 研究概要

### (1) 実践授業から

＜実践授業①＞「税金って何だろう？」(税の使い道に関する「消極的な見方」)

#### ア 実践授業①にあたって

生徒は税についてほぼ知識がない状態であることを踏まえて、税に関する基本的な知識を中心に押さえさせるようにする。また、自分達の住む名取市の予算や、自分達の通っている閑上中学校仮設校舎の借上事業について知ることで、税が自分たちの身近なところで使われていることを実感できるようにする。

#### イ 主な指導過程

学習項目 (○発問)	主な学習内容, 留意点
<p>1 消費税の行き先を知る。</p> <p>○店で商品と一緒に支払った消費税はどこに行くのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイント資料 (国税庁租税教育用教材(小・中学生用)) [資料2] の必要なスライドを使う。</li> <li>・生徒はワークシート [資料3] を使って学習する。</li> <li>・消費税は、店が国 (税務署) や地方に納めることを知らせる。</li> </ul>
<p>2 税の歴史を復習する。</p> <p>○これまでの歴史の中で学習した税について振り返ろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントのスライドを作成し、税の歴史について確認する。</li> <li>・税の歴史に関しては、大野一夫著「イラストで学べる税のしくみ 税金とはなにか?」を参考にした。</li> <li>・学習内容は、生徒が今までに歴史分野の授業の中に出てきた税を簡単に復習する。</li> </ul>
<p>3 税金の使われ方を確認する。</p> <p>○納めた税金はどんなことに使われているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税が公共事業に使われていることをスライドで触れた後に、それ以外の税の使われ方を知らせる。</li> <li>① <u>わたしたちの安全を守るために</u> …警察関係, 救急関係, 消防関係</li> <li>② <u>わたしたちの健康や生活を守るために</u> …健康診断, 予防注射, お年寄りの年金</li> <li>③ <u>わたしたちが平等に教育を受けられるために</u> …校舎, 机・いす, 実験器具, 教科書</li> <li>・税が様々な場面で使われていることに気付かせるようにする。</li> </ul>
<p>4 税金の使い道の決め方, 国の予算を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを使い、予算決定の方法を知る。</li> <li>・国の予算については、H27度当初で96兆円という多額の予算が組まれており、その約4分の3が国</li> </ul>

<p>○税金の使い道は、誰がどうやって決めるのだろう。</p> <p>○国の予算はどれくらいの額なのだろう。</p>	<p>民が納めた税であることを知る。</p>
<p>5 名取市の予算や使われ方を知る。</p> <p>○私たちの住む名取市の予算はどのくらいあるのだろう。</p> <p>○どんなところに使われているのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズ形式で、国や宮城県の予算から名取市の予算を知る。</li> <li>・広報などりの予算のグラフを活用する。</li> <li>・名取市の税金の使われ方の一つに、自分達の身近なこととして、「閑上中学校仮設校舎借上事業」の予算が7769万円計上されていることを知らせる。</li> </ul>
<p>6 まとめをする。</p> <p>○今日学習したことを使って、税金を納める理由を説明しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どうして税金を納めなければいけないの？」の答えを、「なぜ税金を納めるかというと…」の書き出しで、今日学習したことを使って説明する。</li> </ul>

#### ウ 生徒のまとめに対する考察

本時の生徒のまとめ〔資料4〕では、学習したことに基づいて様々な場面で使われていることを理解することができていた。まとめの中に、「税金のおかげ」や「税金がなければ公共施設がなくなってしまう」、「税金がなかったら、今まで普通にしていた生活ができなくなる」、「国民の義務」などの記述が見られた。これは、「税金がなければできない、困る。」という税の使い道に関する「消極的な見方」が生徒の中でなされていると考えられる。本時では税に関する基本的な知識を中心に学習したが、税が自分達の身近な場面で使われている場合の多くは自分達の生活を直接支えているものであったため、生徒の意識の中でも「税金がなければ困る」という意識をもつ結果となったと考えられる。

#### <実践授業②> 「税金の使い道」(税の使い道に関する「積極的な見方」)

##### ア 実践授業②にあたって

導入では、前時の「税がないと生活が困る」という意識の振り返りをする。展開の前半では、「税がないと困る」という意識は「消極的な見方」になっていることに気付かせ、税金が私達の生活をよりよくするために使われているという「積極的な見方」ができるようにする。「積極的な見方」として、税金が使われた研究の資料を生徒に提示し、研究内容を紹介し合う事で、「生活を豊かにするための研究に税金が使われている」ことが実感できるようにする。まとめの段階では、前時と同じ形式を用いてまとめをすることで、前時の税に対する「消極的な見方」から税に対する「積極的な見方」に変容したことを確認できるようにする。この学習を通して「積極的納税」に意識を向けられるようにしたい。

イ 主な指導過程

学習項目（○発問）	主な学習内容，留意点
<p>1 前時の振り返りをする。</p> <p>○なぜ税金は必要なのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントのスライド [資料5] を活用して，授業を進める。</li> <li>・実践授業①のまとめで書いたことを前時のワークシートを使い，確認をする。</li> <li>・振り返りをさせることによって，本時の学習内容につなげられるようにする。</li> </ul>
<p>2 前時までの税金の考え方を見直す。</p> <p>○前時の税金の考え方を見直そう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のワークシート [資料6] を活用し，学習を進める。</li> <li>・前時までに学習した税金の考え方は，「税金がなければ△△できない，困る。」という消極的な見方になっていたことに気付かせるようし，本時では積極的な税の使われ方について知らせるようにする。</li> <li>・国の予算の歳出のグラフを提示し，内訳の一つの「文教及び科学振興費」に注目させる。</li> </ul>
<p>3 税金が公共サービス以外にも使われていることを知る。</p> <p>○積極的な税の使われ方とはどんなものがあるだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国立研究開発法人科学技術振興機構」という，運営をほぼ政府支出金で行っている機関があることをパワーポイントのスライドを使って紹介する。</li> </ul>
<p>4 「生活を豊かにする税金の使われ方」の紹介文を完成させる。</p> <p>○研究についての紹介文を完成させよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金は公共サービスだけでなく，生活を豊かにするための研究費としても使われているので，その研究の資料を配付し，研究内容を紹介する文章を完成させる活動をグループで行う。</li> <li>・紹介文は，活動時間の関係と研究内容を正確に伝えることを考え，穴埋めの紹介文を用意し，研究資料から読み取らせることにした。</li> <li>・他のグループとは異なる研究の資料（計8つ）で活動させ，紹介文を完成させた後に，研究を紹介しあう活動をするを伝えることで，活動に対して意欲を持たせられるようにする。</li> </ul>
<p>5 紹介文を他のグループの人に伝え合う活動をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のグループの紹介文を他のグループの人に伝え合い，交流させる。</li> </ul>

<p>○考えた紹介文を他のグループの人に伝えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いた紹介は、ワークシートにメモをさせるようにする。</li> </ul>
<p>6 全体で研究内容を確認する。</p> <p>○各グループの研究内容を確認しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのグループの研究を全体でも確認する。</li> <li>・研究内容そのものを知ることには重点を置くのではなく、生活を豊かにするための研究に税金が使われていることが押さえられるようにする。</li> </ul>
<p>7 まとめをする。</p> <p>○今日学習したことを使って、税金を納める理由を説明しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時同様に、「どうして税金を納めなければいけないの？」の答えを、「なぜ税金を納めるかという…」の書き出しで、今日学習したことを使って説明する。</li> <li>・まとめは、前時と同様の形式を使用し、前時の税に対する「消極的な見方」から税に対する「積極的な見方」に変容したことを確認できるようにする。</li> </ul>

#### ウ 生徒のまとめに対する考察

本時の生徒のまとめ〔資料7〕では、前時同様に、学習したことに基づいて今回の研究成果に挙げられることをまとめとして記述することができていた。まとめの中には、「生活をよりよくする」、「安全でより良いものにするため」、「科学の発展とそれに伴う生活の向上」、「暮らしやすい国をつくるための研究や開発をするため」などの記述が見られた。これは、前回の実践授業での「消極的納税」の考えから、「積極的納税」の考えに変容したと考えられる。さらに、「私たちの生活に」や「私たちの安全のために」などの「私たち」という言葉が記述されており、これは今回の実践授業で知った研究成果が自分たちの生活に役立っているということを理解していると考えられる。

## (2) 租税教室から

### ア 租税教室にあたって

租税教育のまとめとして、税理士の方を招き「租税教室」を行う。租税教室の内容は、担当していただいた税理士の方と相談をし、最新の税に関する情報として、「マイナンバー制度」の紹介や税理士の仕事についての紹介、税に関する質問コーナーなどにした。この租税教室を通して、さらに税に関心を持つことができるようにし、正しい納税意識の醸成をさせたい。

イ 主な講義内容

講師 木村経営管理会計 木村拓也税理士

講義内容	講義の中で学んだこと
<p>1 マイナンバー制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーで出来る事とは？</li>   <li>・今後マイナンバーで出来る事とは？</li>   <li>・マイナンバーの問題点</li>   <li>・マイナンバー制度の今後の動き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「マイナンバー制度」で今のところ出来ることは3つある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・税の管理…収入をチェックする。</li> <li>・社会保障…社会保険料や年金の支払いを確認する。 例：医療費の3割負担</li> <li>・災害 …災害に遭い、様々な書類がなくなってもマイナンバーがあれば個人が特定できる。</li> </ul> </li> <li>・今後追加される予定がある役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種証明書が要らなくなる。</li> <li>・「マイナポータル」でPC登録すると、自分の財産などが自分の手元で分かるようになる。 など</li> </ul> </li> <li>・情報漏えいの問題が挙げられるが、想定内の問題である。人間が行うためミスは必ずある。確かに問題点はあるが、マイナンバーの良い所と悪い所を比較し、良い所の方が勝るため制度が運用される。</li> <li>・情報漏えいの対策もきちんと行われている。</li> <li>・10月末までにマイナンバーの通知書が届く予定。 (届かない場合は役所に連絡すると良い。)</li> <li>・役所に写真とカードを送ると、来年1月からマイナンバーカードが届く。</li> <li>・10月下旬には、法人用マイナンバーが配付される。</li> </ul>
<p>2 様々な税や税理士などについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税の他にも、法人税，所得税，固定資産税，自動車税，相続税などたくさんあり，様々な方法で税を徴収している。</li> <li>・税理士の仕事について紹介する。</li> <li>・税の計算は，PCのソフトで行っているのだから，実際に計算することはほぼない。</li> <li>・会社の社長から，会社の税に関する相談を受ける仕事を主に行っている。</li> <li>・税理士は，税理士試験に合格するとされる。</li> <li>・税理士に退職はない。</li> </ul>
<p>3 質問コーナー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金は1年にどれくらい集まるのか。</li> </ul>

	<p>→約80兆円、足りない分は国債でまかなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税は何故上がるのか。</li> </ul> <p>→日本が赤字のため。法律で決まっているため。</p> <p>1%上げると今までより2兆円多く集めることができるが、その代わりに消費行動が停滞するので、不景気になる。</p>
--	---

ウ 生徒の感想

[資料8] 参照

8 研究の成果と課題

2回の実践授業と租税教室を通して得られた成果と課題は以下の通りである。

〈成果〉

- ・実践授業①において、基本的な知識を理解し、税は日常生活に必要不可欠なことに使われていることを理解させることができた。(消極的納税の意識)
- ・実践授業②において、税は科学技術の向上のためや、自分たちの暮らしを豊かにするためという使われ方もしているということを理解させることができた。(積極的納税の意識)
- ・租税教室において、マイナンバー制度という税に関する最新の情報や税理士について、消費税に対する疑問などを租税教室を通して知ったり解決したりすることができ、税に対する興味や関心をさらに持たせることができた。

〈課題〉

- ・本研究では、租税教室を含めて3時間扱いで税に関する授業を行ったが、さらに基礎的な知識や理解を図るためには、時数の確保が必要になってくると考えられる。
- ・新設した単元として税に関する授業を取り扱ったが、3年公民分野に関連させて研究を進めることによって、さらにより良い研究になると考えられる。
- ・租税教室では、税理士の方に詳しく講義していただいたので、生徒からの質問時間をあまり確保することができなかった。講義していただく内容や分量によっては2時間扱いにすることで、余裕を持って行うことができると考えられる。
- ・実践授業②において、今回は「積極的な税の使われ方」に着目して、国立研究開発法人科学技術振興機構の研究成果を素材として扱ったが、実践授業①での税の使われ方(わたしたちの健康や生活を守るために、予防注射などに税が使われているなど)は、視点を変えて見ることで「積極的な税の使われ方」とも捉えることができるので、実践授業①と②を踏まえたまとめの時間を確保することで、実践授業①での「消極的な税の見方」と実践授業②の「積極的な税の見方」の両方について考えを深めることができると考えられる。

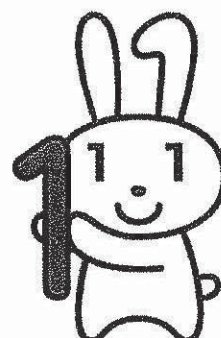
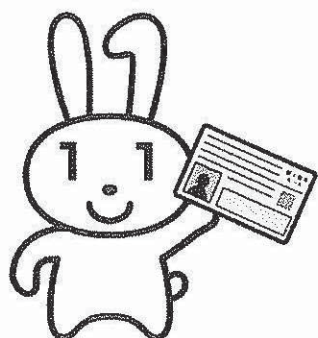


# 租税教育に関する研究発表（資料）

名取市立開上中学校  
教諭 荒川 美貴

## <目次>

1. 税に関するアンケート結果（〔資料1〕①～②）	・・・	20～21
2. 実践授業① パワーポイントスライド資料 （〔資料2〕①～⑦）	・・・	22～28
3. 実践授業① ワークシート（〔資料3〕）	・・・	29
4. 実践授業① まとめ（〔資料4〕①～②）	・・・	30～31
5. 実践授業② パワーポイントスライド資料 （〔資料5〕①～②）	・・・	32～33
6. 実践授業② ワークシート（〔資料6〕）	・・・	34
7. 実践授業② まとめ（〔資料7〕）	・・・	35～36
8. 租税教室 感想（〔資料8〕）	・・・	37



平成27年9月2日(水)実施(3年1組 25名回答)

1 「税金」という言葉を聞いて思い浮かべることは何ですか。

- ・消費税(5%から8%に変わった, 10%になるかもしれない, 価格表示が違う)
- ・印税
- ・関税
- ・相続税
- ・増税
- ・無駄遣い
- ・金が取られる, 集められる
- ・できれば無くなって欲しい
- ・国のために仕方がないこと
- ・タバコ税
- ・所得税(収入によって違う)
- ・住民税
- ・脱税
- ・必要なもの
- ・(税金が)上がって欲しくない
- ・納めることは義務

2 「税金」とは何ですか?知っていることを書いてください。

- ・消費税(物や土地などを買ったときに支払う)
- ・所得税(給料をもらっている人は納めなければならないもの)
- ・納税
- ・固定資産税
- ・何かをしたり, 何かをし続けると発生する国に払わなければならないお金のこと
- ・国民が必ず納めなければいけないお金であり, 国民の義務である
- ・国民から少しずつ集めたお金(主に公共のものに使われる, 税金がかかる対象の金額が高ければ高いほど高くなる)
- ・国民のお金を集めて, そのお金で病院などの建物を建てるためのもの, 国の費用
- ・国がしている借金を「税」を納めて返していく
- ・お金を取られる
- ・国民から取ったお金
- ・印税
- ・住民税
- ・国のために払っているお金

3 「税金」がどんなことに使われていると思いますか。

- ・教科書
- ・国がしている借金を返すため
- ・公務員, 議員などの給料
- ・地域の公共物(警察署, 学校など)を作るため
- ・公共に設備に関すること
- ・オリンピックのロゴのポスターなど
- ・災害が起きたときの復興費用
- ・学校の机
- ・年金
- ・国の予算

4 「税金」は必要だと思いますか。その理由は何ですか。

- 必要 11 【理由】・自分としてはなくても良いけど、国を作っていくためには必要だから
- ・もし家事が発生したとき、自分で費用を支払わなければならないので負担が大きくなってしまうから。
  - ・国の負担が大きくなってしまうから。
  - ・税金がないと国を運営するほどのお金が手に入らないし、公務員の仕事もなくなってしまうから。
  - ・国を運営していくのに必要だから。
  - ・国にお金がなくなってしまって、新しく物も建てられないから。
  - ・税金を使って災害などから復興することができるから。
  - ・年金がなくなってしまい、生活するのに苦労する人が出てくるかもしれないから。
  - ・必要だから存在しているから。
- どちらかといえば必要 8 【理由】・高いものを買うと消費税が高くついてしまって大変になるが、税金は必要。
- ・国のために集めたほうが良いと思う。
  - ・税金があっても大変だが、ない方も大変だと思う。
  - ・日本は借金を抱えているから。
  - ・国のためだから税金が必要だと思うが、税金を国会議員とかが違法に使っているのを聞くとばかばかしく思う。
- 必要ない 6 【理由】・(消費税で)金額が半端になるから。
- ・高くなるから
  - ・ない方が物を安く買えるから
  - ・国民の負担が大きくなる
  - ・年金のために払っている人が多いと思うが、税金を払っても将来もらえるか分からないから、自分で貯金しておいた方が良いと思う。
  - ・国民が苦しむ

# 調べてみよう！ 税のこと①



みなさんは税のこと、どれくらい知っているかな？  
わたしたちに一番身近な税は何だろう？

セイケン博士

商品を買ったとき  
必ずふくまれている  
みたいだよ

まこるくん

あきらくん

めくみさん

何かな～？

消費税って  
聞いたことあるわ

# 調べてみよう！ 税のこと③

消費税のほかにいろいろな  
税があるけれど、なぜ、税を  
納めないといけないのかな？

国や地方に納められた  
税は何に  
使われているんだろう？

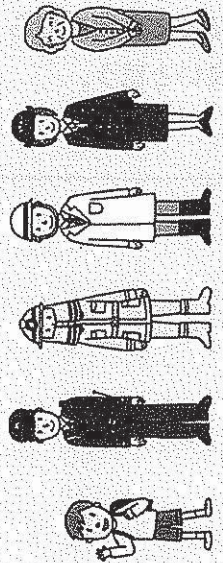
税金がなくなると  
どうなるのだろう？

大事なお金  
だからできれば  
払いたくないな

ガムを買って消費税を払った

# わたしたちのくらしと税

租税教育教材



# 調べてみよう！ 税のこと②

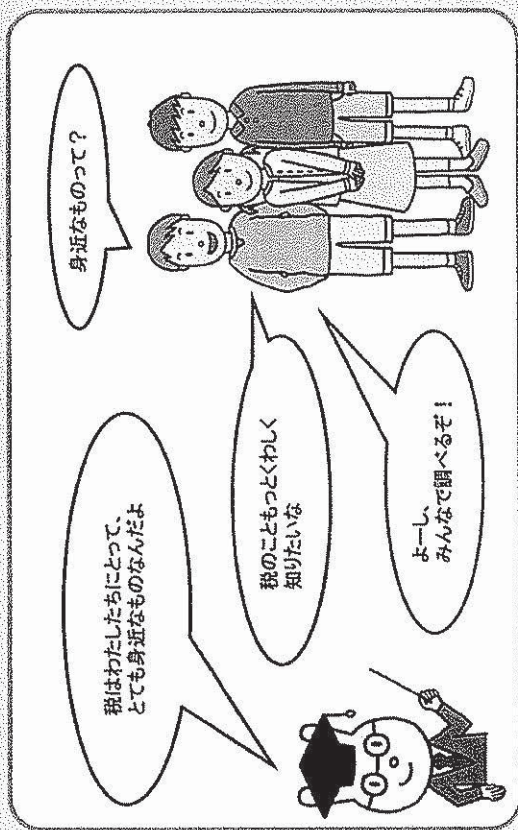
では、消費税はその後、  
どこに行くのかな？

お店が消費税を国  
(税務署)や地方に  
納めます

税は国や地方に  
納められるんだね

税務署

# 調べてみよう！ 税のこと④



## 税の歴史

### 班田収授法

- × 大宝律令（701）
- × 租……稲（収穫の3～5%）
- × 調……絹，特産物
- × 庸……布（労役の代わり）
- × 雑徭……労働
- × 兵役……1年（防人は3年）
- × 出挙……稲（5割の利息）

### 税は古代から…。

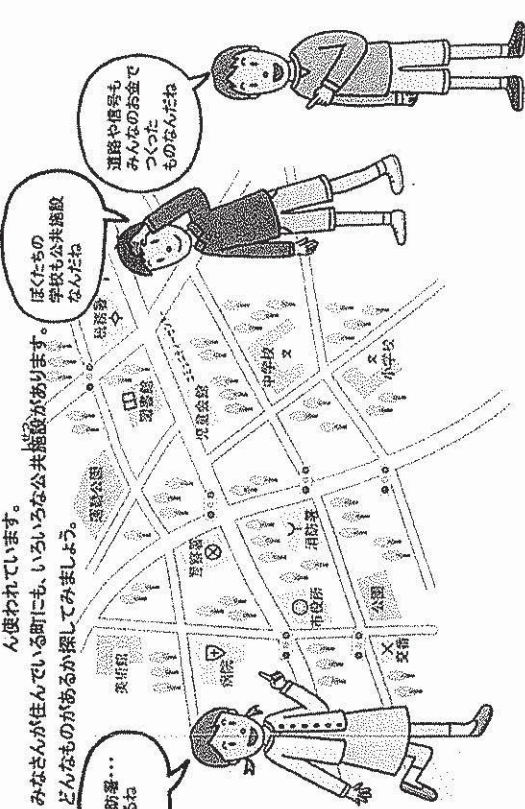
- × 税の始まりは、今から3000年以上前
- × 権力を持った人が、王の元で働く役人を使って税を集める。
- × 例) エジプトのピラミッドの費用  
強制労働……労役，夫役

# 税って何に使われているの？

みなさんがいつも遊ぶ公園や本を読む図書館など、多くの人が使う施設を公共施設といいますが、公共施設には国やそれぞれの地方(都道府県や市(区)町村)の税がたくさん使われています。

みなさんが住んでいる町にも、いろいろな公共施設があります。ほくたちの学校も公共施設のひとつです。公共施設には国やそれぞれの地方(都道府県や市(区)町村)の税がたくさん使われています。

警察署に消防署...  
いっぱいあるね



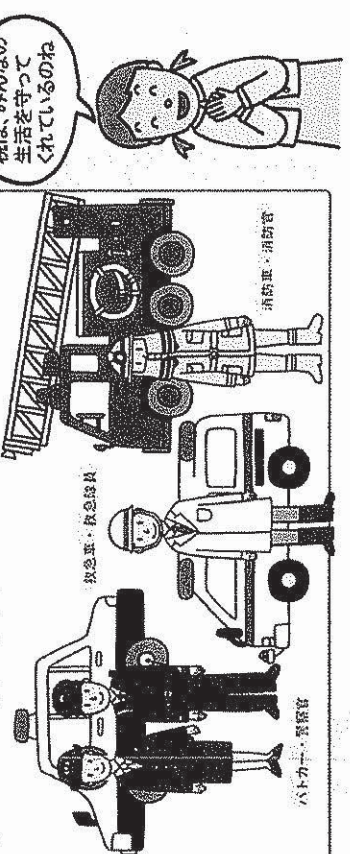
道路や橋もみんなのお金でつくったものなんだね

ほくたちの学校も公共施設なんだね

# 税ってどう役立っているの？ ①

税は、わたしたちみんなが、平等で安全に楽しく生活するために、公共施設以外にもいろいろなところで使われています。税がみなさんの身近なところで、どんなふうに役立っているか、考えてみましょう。

## わたしたちの安全を守るために



# 明治時代

## 地租改正 (1873)

- 土地の面積や所有者を調べて、地価(土地の価格)を決め、地券を発行する。
- 税率は地価の3%
- 後に2.5%へ

# わたしたちの身の回りにある公共サービスや公共施設について考えてみましょう

わたしたちの身の回りにある公共サービスや公共施設(都道府県、市(区)町村)による「公共サービス」や「公共施設」があります。これらを提供するためには、皆さんの費用がかかります。

- ゴミ処理費用 (平成24年度) 約2兆788億円 国民1人当たり約1万76,300円
- 国民健康保険の公費負担額 (平成24年度) 15兆1,459億円 国民1人当たり約11万7,800円
- 警察、消防、ゴミ収集、福祉など 公共サービス
- 警察署・消防署 (平成24年度) 約5兆9,491億円 国民1人当たり約4万円
- 消防車 (平成24年度) ポンプ車約1,300万円～ 高層用は2車約1億6,000万円
- バス 1台当たり平均建設費 約13億円
- 学校 1校当たり平均建設費 約13億円
- 公共施設 (学校、公園、道路など)
- 電話番号 全国に約19万基 1基当たり240～470万円

## 税ってどう役立っているの？②

わたしたちの健康や生活を守るために

健康診断 予防接種 高齢者の年金

税って、いろんなところで役立っているんだね

## 税ってどう役立っているの？③

わたしたちが平等に教育を受けられるために

校舎 机、いす 実験器具 教科書

みんなですべての学校に行けるのも、税のおかげなんだね

## 税ってどう役立っているの？④

みんなが勉強するために、たくさんのお金が使われているんだよ

**ゼイキン博士のまめ知識**

国や地方が負担する年間教育費(平成24年度)  
(公立学校1人あたり)

小学生	約86万3千円
中学生	約99万3千円
高校生(全日制)	約100万円

## ? 税の使いみちはどうやって決めるの？①

国の予算の決め方

国は国民のくらしを豊かにするために、国に入ってくるお金をどう使うかを話し合っています。まず、内閣が1年間に入るお金と国の仕事に必要なお金を計算し、予算案をたてます。そして、その予算案について、国民の代表である議員が国会で話し合い、予算を決定します。

国民 → 国民のくらし → 税 → 内閣 → 議員 → 国会 → 予算案

議員は国民に選ばれた代表者なんだ

この政治への参加と国を支える税金を国民が負担することが対になっているのが民主主義国家の基本です。

## 国や地方は税をどう使っているの？①

**国** 地方の使いみち 国は、国民全体のために必要なことや海外援助などに、地  
方(都道府県や市(区)町村)は、住民の生活に欠かせない  
身近なことに税を使っています。  
地方(都道府県や市(区)町村)が活動するためのお金は地方税と国から交付されるお金  
でまかなわれています。

※写真提供：今村健志朗/JICA

税はわたしたちのくらしに  
どのようにいかされているのかな？

<p>社会保障のために</p> <p>国民が医療を受けるとき の費用を補助しています。</p>	<p>災害救助のために</p> <p>いざというとき災害救助 を行います。</p>	<p>教育のために</p> <p>教科書を無料で配布してい ます。</p>	<p>海外援助のために</p> <p>現地へ行って支援活動 をしています。(注)</p>
---	---	---	--

## 税は大切なもの

**納税は国民の義務** 税がないと、わたしたちの生活は成り立たなくなります。  
税は、社会の一員として暮らしていくために支払わなければならない会費のようなもの  
です。税を納めることは、国民の義務として憲法に定められています。

国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負ふ。(納税の義務)

【日本国憲法第30条】

わたしたちの代表が  
話し合って  
税の使いみちを  
決めていけるのね

みんなで平等に  
税を納めて  
いるんだね

大人になっても  
きちんと  
税を納めなくちゃ

## 税の使いみちはどうやって決めるの？②

**国の予算(平成27年度当初予算)**

国民のためのために  
使われているのね

税金は国民みんなのために  
使われているのね

国民のために  
予算がたてられているんだ

## 国や地方は税をどう使っているの？②

**地方**

地方ではその地域のために  
税を使ってるんだね

<p>快適なくらしのために</p> <p>自然環境の保護に努めています。 (兵庫県明石市の植林事業)</p>	<p>住民の安全を守るために</p> <p>火災から住民を守ります。 (和歌山、海部、有田市合同消防隊)</p>	<p>まちづくりのために</p> <p>下水道の整備をしています。 (高島浄化センター)</p>
--	--	--





# 中学校仮設校舎の完成が完了しました。

◎ 関上中学校仮設校舎借上事業

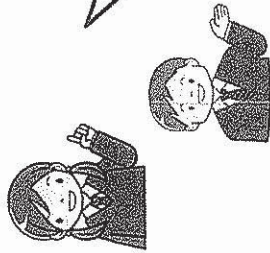
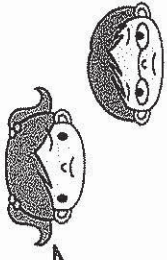
## 7769万円

関上中学校の再建が完了するまでの期間、十三塚公園敷地内に設置している応急仮設校舎により、中学校の機能を維持します。

(広報なとり4月号より)

# まとめ ～書いてみよう～

どうして税金を納めなければいけないの？



なぜ税金を納めるかというと・・・

(今日学習したことを使って説明してみよう)

租税教育 ①

氏名 ( )

「税金って何だろう？」

- 税の歴史
- ・税の始まりは、( ) 年以上前
- ・奈良時代 【 】 …稲 (収穫の3~5%) 【 】 …労働
- 【 】 …絹, 特産物 【 】 …1年 (防人は3年)
- 【 】 …布 (労役の代わり) 【 】 …稲 (5割の利息)
- ・地租改正…地価の( ) % → ( ) %へ

○ 税ってどう役立っているの？

①  ため …パトカー・警察官, 救急車・救急隊員, 消防車・消防官

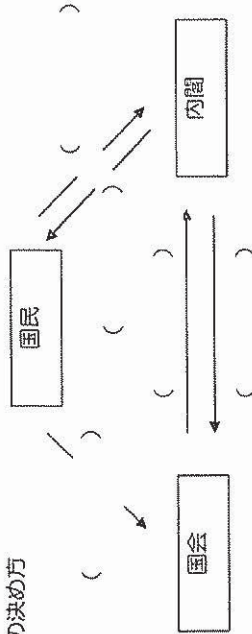
※ごみ処理 …( ) 円/一人あたり

②  ため …健康診断, 予防注射, 年金

③  ため …校舎, 机・椅子, 実験器具, 教科書

※学校 …( ) 円

○ 国の予算の決め方



○ 国の予算 …約( ) 円 (H27年度当初)

○ 名取市の予算 …( ) 円 (H27)

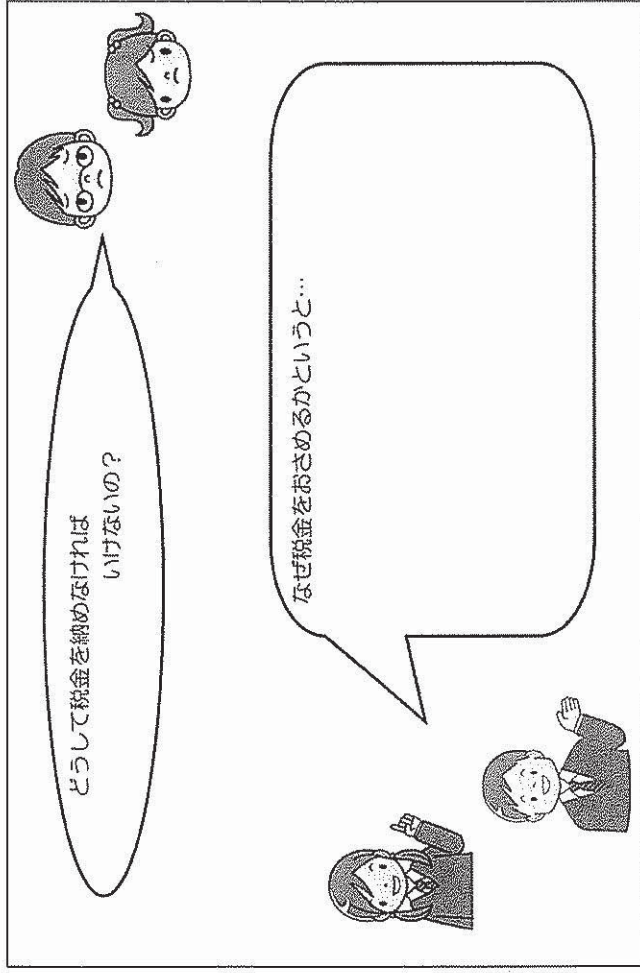
○ 【 】 …( ) 円

☆税金は暮らしを守る【 】 のようなもの!!

租税教育 ①

氏名 ( )

○ まとめ

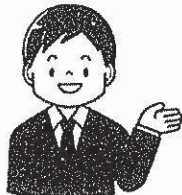


【感想】



なぜ税金をおさめるかというと…

わたしたちが普段通っている学校などの公共施設は税金によってつくられている。それは多くの人々が使うから国民のみんなが少しずつ税金をたいてつくる。もし、その税金がなければ、公共施設がなくなってしまうので、わたしたちがあたり前のように通っていた学校などもなくなってしまうからです。



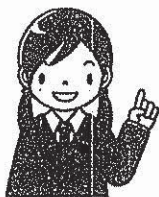
なぜ税金をおさめるかというと…

わたしたちが普段通っている学校などの公共施設は税金によってつくられている。それは多くの人々が使うから国民のみんなが少しずつ税金をたいてつくる。もし、その税金がなければ、公共施設がなくなってしまうので、わたしたちがあたり前のように通っていた学校などもなくなってしまうからです。



なぜ税金をおさめるかというと…

国民は納税の義務が法律で課せられているから。また税金を納めることで自分たちの暮らしを支え、よくしていくのに継がるから。警察や消防、救急などの治安を守ってくれるものや公園やゴミ収集などの環境美化などが税金に使われる。



なぜ税金をおさめるかというと…

税金をおさめなければ、"パトカーが買えなくなったり、警察が働けなくなるので、安全を守ることができなくなったり、健康診断を受けられなくなるので、健康や生活を守ることができなくなったり、学校で使う机・椅子・実験器具・教科書などが買えないことになるので、特に教育を受けられることが、私たちの重要になることができなくなってしまうから。



なぜ税金をおさめるかというと…

税金を納めることで、警察や病院など働くことが  
できるから、税金を納めて安全な生活をするためです。  
また、国民一人あたりが負担する額になるお金を、  
国の人がみんなでお金を出すことで一人一人への負  
担を軽減することができます。

生活していく上で、自分たちが安全に、健康に、そして  
教育を受けるために、国民の義務として税金を  
納めなければいけません。



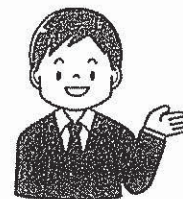
なぜ税金をおさめるかというと…

自分の健康や安全を守るために現在は8%  
おさめなければなりません。公共施設の建設費  
にあつたり、教科書や災害補助などにも使  
われる。私たちは今、税金がたかたら、学校で  
授業がとまってしまうかもしれないので、今後の自分  
の生涯のためにも、これから税金をおさめ  
たいと思います。



なぜ税金をおさめるかというと…

私たちがより豊かに生活できるように納めるん  
だよ。火事がおきたら、消防車が来て、けがした人  
がいたら救急車が来るというように私たち  
を助けてくれるよね。それも税金でまかしてくれてい  
るんだよ。私たちが勉強できることも、予防注射  
をすることも全て税金のおかげなんだよ。  
だから、納めなければいけないんだよ。



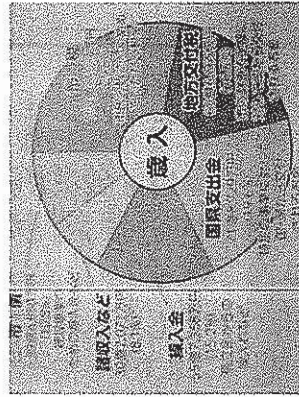
なぜ税金をおさめるかというと…

公共施設や公共サービスなどに使うため  
たくさんの費用がかかるため国民が税  
金などをはらってまかっている。他にも医  
療費や子どもの教育などにも税金が使わ  
れている。

# 前回は振り返って...

\* H27の名取市の予算は...

一般会計歳入歳出総額 368億円



# こんなものも税金で...

◎ 関上中学校仮設校舎借上事業  
7769万円

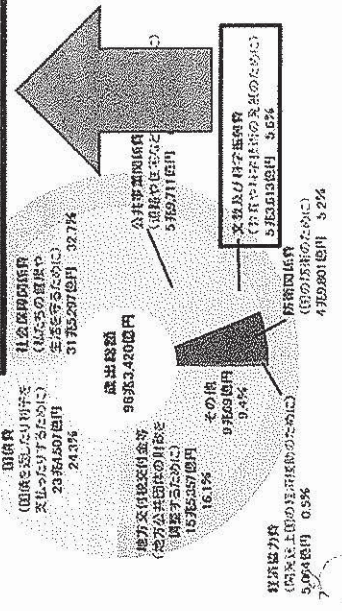
関上中学校の再建が完了するまでの期間、十三塚公園敷地内に設置している応急仮設校舎により、中学校の機能を維持します。

(広報なとり4月号より)

# 税金って実はこんなところにも...

文教及び科学振興費  
(教育や科学技術の発展のために)  
5兆3613億円 5.6%

\* 国の歳出(H27)



税金って実はこんなところにも……

国立研究開発法人  
科学技術振興機構 Japan Science and Technology Agency

国立研究開発法人  
科学技術振興機構 Japan Science and Technology Agency

収入 106,564 [百万円]

自己収入 4,938

その他 586

国庫支出金 101,040

国庫支出金 101,040

税金の使われ方を「もっと」知ろう！

【グループワーク】税金の積極的な使われ方を紹介しよう！

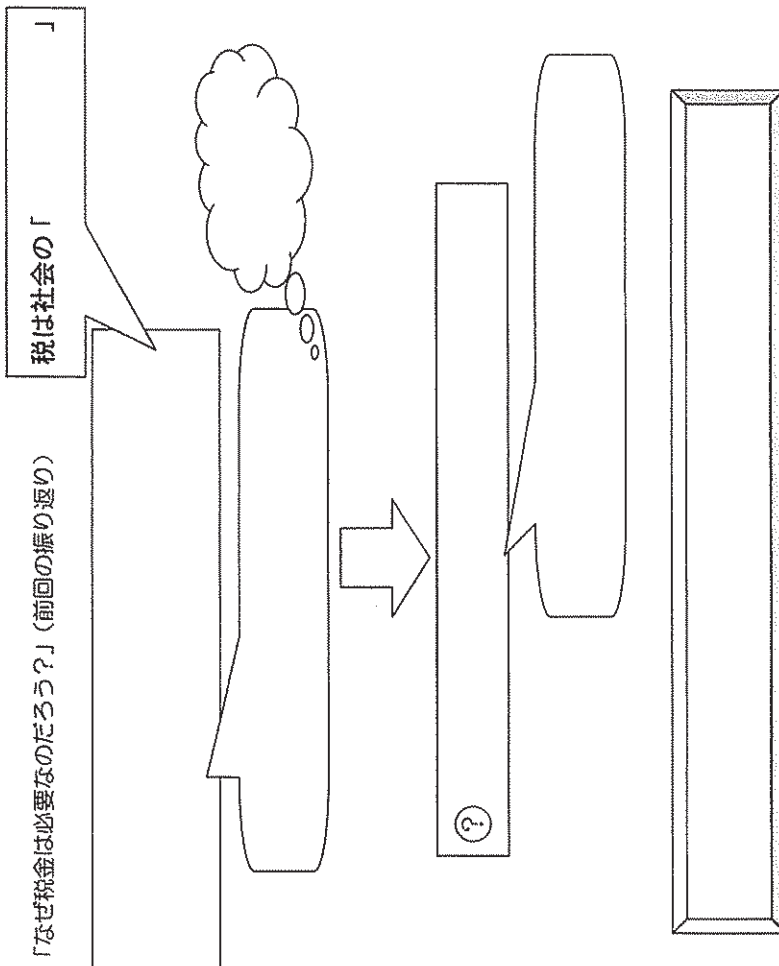
まとめ ～考えてみよう～

どうして税金を納めなければいけないの？

なぜ税金を納めるかというと……  
(今日学習したことを使って説明してみよう)

「税金の使い道」

○ 「なぜ税金は必要なのだろう？」(前回の振り返り)

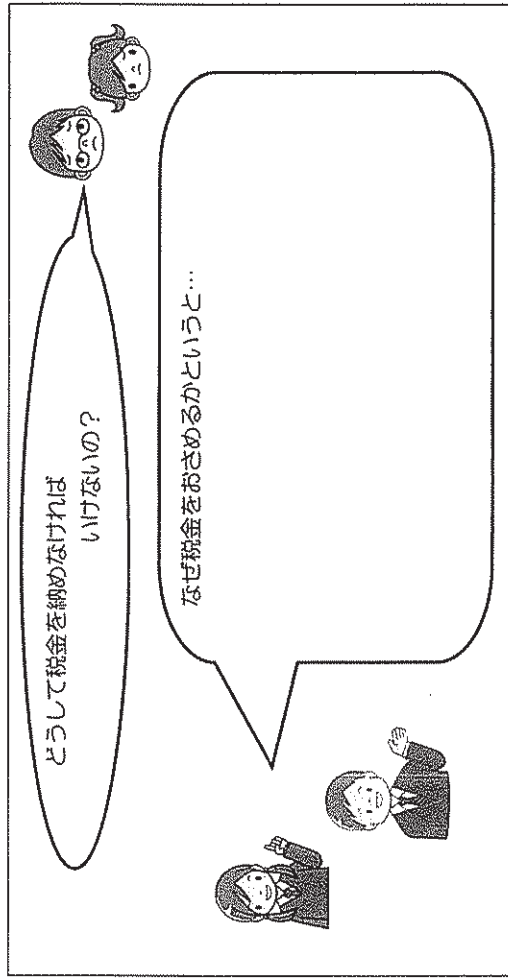


Aの研究成果	( )の芯から( )を作るという
研究がされています。これは、( )の芯の有効活用になっています。	
世界では、植物や動物由来の資源である( )と呼ばれる( )の活用の動きが進められています。今後は、100%非食用( )からPET樹脂を作ることも期待されています。	

○ 他の班の研究成果の紹介を知ろう！

A	B
C	D
E	F
G	H

○ まとめ



【感想】





なぜ税金をおさめるかというと…

いろいろの研究をして、その内容が世界で役立つように研究で使うため、税金を貯める。

将来、自分たちが安全な生活ができるようになるため。



なぜ税金をおさめるかというと…

障害者のための研究をすることか、または、普段のわたしたちの生活に役立つかもしれない研究などをすることか、できるから。



なぜ税金をおさめるかというと…

聴覚障害がある人に音を伝えるために開発されたものや、植物を増やして、CO<sub>2</sub>の削減をしたりするなど、誰かのために、この国のために、環境のために、たくさんの方がされています。それも税金で開発されているんです。私たちの生活をよりよいものにできるように税金を使って開発されているんです。



なぜ税金をおさめるかというと…

私達の生活を安全でより良いものにするためと、科学の発展とそれに伴う生活の向上のためです。

資料7



なぜ税金をおさめるかというと...

税金を納めることで、私たちの生活をよくする  
科学の研究の発展につながるからです。

研究費は税金なので、多くの人々が科学の発  
展のために役立つ研究を行うことができ  
ています。

これからの日本が、世界をよくするためにも税金  
は役立っています。



なぜ税金をおさめるかというと...

自国がより生活しやすくなるための研究・開発  
や、発展途上国へのボランティア支援等、  
又、世界で役立つエネルギーの開発を  
行い、高齢者にも住みやすい国をつくる  
ため。



なぜ税金をおさめるかというと...

いろんな人に役立つ便利な開発や様々な  
研究をやることのできるように納める。

将来様々な人が快適に生活が出来るよう  
なために研究し、納められた税金を納めたい  
と思う。



なぜ税金をおさめるかというと...

障害者の方がくらしやすさの中  
にあることや、いつもは捨てているも  
ののゆうこう活用するなどで、日本がま  
よい国になるように、また、くらし  
やすい国をつくるための研究や開  
発するために、みんながくらしやすさはらうこと  
が大切です。

【感想】 今まで知らなかった事がたくさん分かりました。特に、マイナンバーの事を詳しく知れて良かったです。マイナンバーは、将来証明所がいなくなったりなどいい所もあるけどその分問題もたくさん出てくる事が分かりました。あと、税理士とはどのような仕事なのかがよく分かりました。想像と全然違、た仕事で驚きました。

【感想】 今回の授業を受けて、今まで分からなかった点や気になる点を多く知れました。税金について今まで以上にしっかりと教えてほしいと思います。

【感想】 私は今回のお話をきいている色々なことばかり分かりました。いままで消費税がなぜ上がるのかよくわからなかったけど、赤字でお金が足りないからだ」と知りました。また、今話題のマイナンバーの最新情報やマイナンバーカードというものの存在のことが知れてうれしかったです。

【感想】 どのようには管理されているのかということが、かげなかったけど、なぜ消費税が上がるのかということがわかって良かったです。そして、マイナンバーのこと、前よりは、少しずつちがりました。日本が借金しているということもびっくりしました。

【感想】 今回の授業では税金のことについて税理士の仕事について詳しく学ぶことができて良かったです。マイナンバーの事などに興味をもったので調べてみたいと思います。

【感想】 今回の租税教室ではゲストスピーカーの方がくわしく教えていただいた。マイナンバーについても、税についてもよく分かり色々お話していただき、くわしく知ることができて良かったです。

【感想】 税金がとて生活に役立つ、という以外具体的に知れて良かったです。マイナンバー制度について詳しく知ることがなくて、いいものなのかわからなかったけど、いいところがあるのか知れました。消費税が7%上がると2兆円に入るといふのに驚きました。日本は何かの税を高くしたりはしなくとも大丈夫なのかなと思いました。

【感想】 私はマイナンバーについて、少しかないさまであったなどいろいろことが多く報道されていてわかるいイメージはなかったけど、今回のお話を聞いて、いろいろなものなのかがよく分かりました。税のこともよく知れて良かったです。